

# Dongri No.6

コミュニアル事務局だより 2022年11月22日発行

## 1. 事業報告

- 1) 愛染橋病院の木の装飾のため、紅葉のフィルムシート作りを永和信用金庫の内定者および職員のみなさんで行ってもらった。完成作を西村粋監事が病院に届け、活用してもらった。
- 2) 10月31日(月)に永和信用金庫本店営業部(大阪市浪速区)にて寄附金贈呈式が執り行われた。コミュニアルからは永廣信治理事長と永廣佳理事(および西村粋監事)が出席し、寄附金(10万円)受領の後、同金庫の翁長自夫(おなが・よりお)理事長ら役員4名と懇談した。今後も寄附を継続して下さるとのこと。
- 3) 10月31日(月)、永廣佳理事が愛染橋病院を訪問し、紅葉とハロウィン装飾の見学および職員食堂の装飾の提案を行った。積極的にアイデアを出す職員さんに協力する仲間の輪がさまざまな部署に広がっているとのこと。すでに季節ごとの装飾計画ができているため、当面は職員さん主導で制作を進める方針を西村匡司院長と確認した。また外来待合座面に設置したサインの多くが剥がされて見苦しくなっているので、撤去を依頼した。
- 4) 「ひびきあうハート Kumamoto 2022」プロジェクト最終章となる熊本大学病院での制作を11月19日(土)~21日(月)の3日間行った。これまでのワークショップ(オンライン+くま博)で制作した小ハートが937枚となったことと、地元学生の参加が多数となったため、当初予定していた中央診療棟エスカレーター側面(1~2階)に加え、2階廊下および中庭に面した窓ガラス面にも作品を伸長させ、大中あわせて19個のハートと武者返しの石垣を制作した。アーティスト西村公一氏の指導の下、コミュニ

アルからは永廣信治理事長・永廣佳理事に加え賛助会員と家族3名、現地学生のべ31名、教員3名、病院職員2名、理事長親戚・知人6名、BNPパリバ担当者2名、合計47名が現地制作に携わった。RKK熊本放送および熊本日日新聞の取材が入った(掲載日要確認)。21日月曜日14時頃完成し、馬場秀夫病院長も大変喜ばれていた。また多くの職員さんや患者さんたちが足を止め、マスキングテープで作られていることに驚いたり、作業中のメンバーに質問をしたり写真を撮ったりしていた。作品の写真はホームページ、SNSに公開準備中。

- 5) 2023年1月7日(土)に「鳴門市新型コロナウイルス感染症対策地域活動推進補助金」によるワークショップをうずしお会館(鳴門市)で開催予定。講師(オンライン)西村公一氏にも依頼済。

## 2. 会議報告

- ・会議体の開催はなし。

## 3. 事務局業務報告

### 1) 新入会員

新規: なし

①正会員(個人)

現在13名(設立時正会員との合計15名)

②正会員(法人)

現在3法人

③賛助会員(個人)

現在11名

④賛助会員(法人・団体)

現在7法人

### 2) 助成金・寄附金受入

【寄附金】

新規:

- ・熊部義夫様 ¥10,000
- ・原田哲男様 ¥10,000
- ・BNP パリバ証券株式会社様  
¥500,000
- ・日本生命保険相互会社鳴門営業部様  
¥30,000
- ・熊谷政典様 ¥10,000
- ・賀来素之様 ¥10,000

今年度累計額 ¥1,747,000

### 3) その他

- ・とくになし。

### 4. 検討事項

- ・会員・寄附募集案内の拡散。
- ・法人紹介動画等の作成。
- ・法人設立記念イベント（オンラインセミナー等？）  
の開催検討。

---

### Dongri No. 6

コミュニアル事務局だより 2022年11月22日発行

編集 コミュニアル事務局（中山直人、永廣佳）